

2019年度 第47回 こくみん共済 coop 小学生

作品コンクール

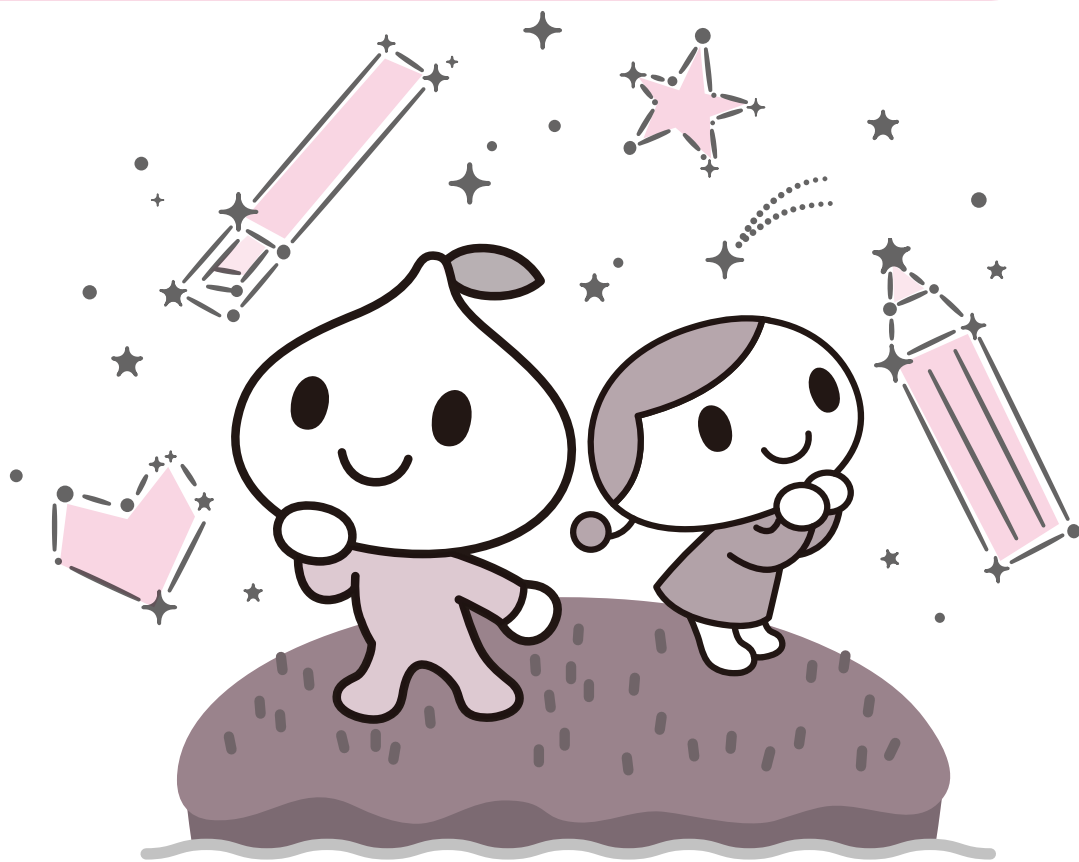
★ 「作文」と「版画」作品募集のご案内 ★

締切日

2020年1月10日(金)必着

テーマ

作文 ● 新しく挑戦をしたこと
版画 ● 自由課題



2019年6月、全労済から
「こくみん共済 coop」へ

たすけあいの輪をむすぶ

主催 **こくみん共済** 〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

coop

子どもたちの元気で素直な作品を楽しみにしています。
たくさんのご応募をお待ちしています。

こくみん共済coop〈全労済〉関東統括本部 統括部長 廣田 政巳



こくみん共済coop〈全労済〉は、営利を目的としない生活協同組合として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざして共済事業を営んでおります。また、共済事業に加え、豊かで安心できる社会を実現するために、社会貢献活動や教育文化活動にも取り組んでおります。

さて、こくみん共済coop〈全労済〉関東統括本部と各推進本部（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・長野・山梨・静岡）では、社会貢献活動の一環として、子ども達の豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催しております。このコンクールも今回で47回目（47年目）を迎えることができました。前回の第46回コンクールには、312校の小学校から1万1千点を超える作品応募をいただき、盛大なコンクールとすることができました。これも校長先生をはじめ先生方、関係機関の皆さまのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も、各都県の教育委員会とNHK各地方局等のご後援をいただき、児童の皆さまの作品を募集させていただくこととなりました。つきましては、児童の皆さまからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※後援につきましては予定も含みます。

作文の部 「新しく挑戦をしたこと」

あなただけの『チャレンジ』を

（少し難しい言葉を使っている箇所もあります。
意味がよくわからないところは、保護者や先生と話し、
理解をしてください）



作家・子どもの専門店クレヨンハウス主宰 落合 恵子

エベレストに登頂するとか、太平洋や大西洋をたつたひとりでヨットで横断するとか……。それはそれで素晴らしい「挑戦」です。けれど、わたしたちのもっと身近にもさまざまな「挑戦」があるのだと、わたしは考えています。

あまりにも小さな「挑戦」ですが、わたしの小さな庭にある木製の棚には、ずらりと試験管が並んでいます。理科の実験室みたい、と遊びに来た友人たちは言います。春から秋のはじめまで、いろいろな植物の「根だし」※発根を手助けしてくれるのが、これらの試験管です。

大好きな植物から小さな枝をもらって、切り口をナイフで斜めにカットします。そして、水を入れた試験管に挿すのです。水

版画の部 自由課題

新しい

「版にあらわす」内容



NPO法人市民の芸術活動推進委員会 理事長 鈴石 弘之

平成二十三年に全面実施された学習指導要領で、版画（版に表す）内容は、次のように記述されていました。

同じものを何枚も写し取ることができる、反転して写る、版ならではの表現効果があるなどの特徴をもった造形活動である。例えば、身近なものを版に利用して型を押したり、凹凸のあるものを選んでこすり出したり、紙版や簡単な木版で表したりすることなどが考えられる。型紙を切り取ってその内側をスポンジのような材料で着色する、コピー機を利用して何枚も同じものをつくってそれを材料にするなども版に表す経験の一つと考えることができる。

ところが、令和二年に実施される新しい学習指導要領では、

はできるだけ毎日取りかえます。しばらくすると(植物によって期間は違いますが)、根が出てきます。ガラスの試験管は透明ですから、試験管の中で根が育つ様子がとても興味深く、楽しみです。それらを庭やプランターに植えかえるのですが、いま庭できれいな紫の花穂をつけている、香り高い大株のラベンダーの群れのはじまりは、試験管の中で根をだした一本の茎です。わたしにとって、根だしや芽だしはしたがって、ささやかな、けれどもかけがえのない、暮らしの中にある「挑戦」のひとつなのです。沖縄県の高校2年生の少年が、飛行機のチケット代が入った財布をなくしたというニュースを覚えていませんか？

伯父さんの納骨式に出るための飛行機代。どうしてもらしいのだらうと、不安にうちのめされ、混乱している彼に、空港にいた見知らぬ男性が声をかけてきました。事情を話すと、その男性は高校生に飛行機代を手渡してくれたといいます。しかし、慌てていたで高校生はその男性の名前や連絡先を確かめることを忘れていました。その後、地元新聞社にその男性を探す記事の掲載をお願いし、21日ぶりだったか、ふたりは再会！

高校生に飛行機代を手渡した男性は、なんと沖縄県からおよそ1600キロメートルも離れた埼玉県で暮らす医師だったそうです。ニュースが大きく取り上げられたのは、人の気持ちに心優しい「衝撃」を贈ってくれる出来事だったからでしょう。いやな詐欺事件などが多発して、人を信じるのが困難な時代において、なんと素敵な話でしょう。高校生にお金を渡した彼も、なんとしてもお礼が言いたいと新聞社に記事の掲載を依頼した高校生も、互いに「人を信じる」という、この時代に決して簡単ではないテーマに取り組んだ「挑戦者」とも言えます。

心がゆっくりと深呼吸するようなニュースでした。報道されたふたりの笑顔の、なんと清々しかったことか。悲しく残酷なニュースがあるこの時代、この社会で、人を信じることもまた、新しい(古くて新しいと言ったほうがいいかもしれません)大きな「挑戦」なのかもしれません。

*

あなただけの「新しく挑戦したこと」に、是非出会わせてください。

書くことは簡単ではありませんが、「書く」という行為自体、それぞれのあなたにとって意味ある「挑戦」であるはず。あなたの作品に会える日を、心から待っています！

「型紙を切り取って」以降の文章が次のように変更されました。「その内側や切り取ったものの外側をスポンジやローラーのような用具で着色するなど版に表す経験の一つと考えることができる。」

コピー機利用がバツサリと削除されました。これは、図版などを切り取ってコピー機にかけて複写するなど、著作権に抵触する活動が散見されたためだと思われます。なお、「これらの造形活動(版で表す、土を焼成して表す)では」以降の文章、「材料や用具の準備や製作の工程などに児童だけで行うことが困難な部分があるので、児童が無理のない範囲で経験できるようにするとともに、児童が受け身で活動を終えることのないように配慮する必要がある。」は、従前の考え方が踏襲されています。

改めて申すまでもなく、「児童が受け身で活動を終えることのないように」という最後の一文は指導者が肝に銘じて心すべき内容だと思っています。版画の大きな特徴のひとつは版を刷り上げると、描いていた図像が反転するということです。摺ってみなければ分からないトリッキーな表現方法でもあるのです。子どもたちには、機会の少ない表現方法のため、遂に最後まで意味が不明のまま、先生の指導に追従することになる場合もあるようです。

ところで、四十七回目を迎える「こくみん共済coop小学生作品コンクール」ですが、当初は版画部門にもテーマがありましたので、取り出してみます。「はたらく人」「たすけあい」「仲間」「いのちをたいせつにする」「遊ぶ」「私の家族」「育てる」「力をあわせる」「働く」「元気に遊ぶ」「道具をつかう」「なかよしと」「私のまち・むらのくらし」「おまつり」「くるまとわたしたちの生活」です。共通しているのは「生活」だと思っています。第十七回から自由課題となった経緯は不明ですが、現代では子どもたちの生活が押し並べて一律になり、生活を主題にすることが困難になつてるように思えます。「道草」という言葉が死語にさえなつてます。

『版にあらわす』という言い方になって既に十余年です。主題もそうですが、もう一歩踏み込んだ新しい技法の取り組みが必要のように思います。版になる材料も新たに探し出し、様々な実験を重ねることも大切だと思います。

版に表すの原点は木版画です。それへの取り組みもぜひ継続してほしいと要望します。そして、素敵な作品がたくさんあつまることを期待します。

第47回 こくみん共済 coop
小学生 作品コンクール

お う ぼ よ う こ う
応募要項

応募締切日
2020年1月10日(金)必着

応募資格

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡の各都県にお住まいの小学生

部 門

「作文」、「版画」の2部門

テーマ

◎作文：「新しく挑戦をしたこと」
◎版画：「自由課題」

賞

●中央コンクール

最優秀賞…各部門各学年1名(賞状、副賞)

優 秀 賞…各部門各学年2名(賞状、副賞)

●各都県コンクール

金 賞…各部門各学年1名(賞状、副賞)

銀 賞…各部門各学年2名(賞状、副賞)

銅 賞…各部門各学年5名(賞状、副賞)

※このほか、各都県独自賞があります。

※応募作品数などの影響により、各賞に該当する作品がない場合もあります。

審 査

- ①各都県ごとに「都県コンクール」を行い審査します。
- ②「都県コンクール」で選ばれた金賞作品を「中央コンクール」で審査します。

審査員

●中央コンクール

作文の部：落合 恵子先生
(作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰)

版画の部：鈴石 弘之先生
(NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長)

両 部 門：廣田 政巳
(こくみん共済 coop〈全労済〉関東統括本部 統括本部長)

応募方法

次の要領で、こくみん共済 coop〈全労済〉各推進本部「小学生作品コンクール事務局」へ出品カードを添付してお送りください。

◎作文：400字詰原稿用紙で5枚以内。

◎版画：**木版、紙版などを問わず**、大きさはB4(257ミリ×364ミリ)以上でA2(420ミリ×594ミリ)以内。必ず台紙に貼ってください。

*作品はいずれも自作・未発表のもので、2019年4月以降に作成されたものに限りです。入賞作品の著作権は、こくみん共済 coop〈全労済〉に帰属します。なお、応募作品は返却いたしません。

*応募は、作文、版画それぞれ1人1点ずつまでとなります。

応募締切日

2020年1月10日(金)必着

発 表

●都県コンクール 1月下旬予定

●中央コンクール 2月下旬予定

入賞者につきましては、学校および本人に通知いたします。

表彰式

中央コンクール入賞者を対象に、2020年3月1日(日)東京で行います。

応募上のご注意

- 学校・学年・クラス単位でまとめて応募してください。
- 個人での応募も可能です。
- 出品カード・出品名簿が足りない場合はコピーしてお使いください。
- 出品カードに必要事項を記入し(フリガナをお忘れなく)、しっかりとりづけしてください。
(作文は最終ページ裏の右上、版画は裏の右下)
- 出品名簿には学年ごとの応募点数も記入してください。
- 入賞作品(小学校名・入賞者氏名)につきましては、当会発行の刊行物およびホームページ等に掲載させていただきます。

作品の送付・お問い合わせは、下記のこくみん共済 coop〈全労済〉「小学生作品コンクール事務局」まで

茨城推進本部 〒310-0804 水戸市白梅1-1-10 ☎029-227-6684

栃木推進本部 〒321-0963 宇都宮市南大通り2-5-4 ☎028-680-7830

群馬推進本部 〒371-0854 前橋市大渡町2-3-3 ☎027-252-0467

埼玉推進本部 〒338-8504 さいたま市中央区下落合1050-1 ☎048-822-0648

千葉推進本部 〒260-0045 千葉市中央区弁天1-17-1 ☎043-287-8165

東京推進本部 〒160-0023 新宿区西新宿7-20-8 ☎03-3360-6055

神奈川推進本部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-9 ☎045-473-3400

長野推進本部 〒380-8710 長野市立町978-2 ☎026-235-6139

山梨推進本部 〒400-0031 甲府市丸の内3-29-11 ☎055-237-6861

静岡推進本部 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-0107



第46回入賞作品

作文の部

最優秀賞

これからうんどうかいをはじめます

茨城県・桜川市立雨引小学校二年 有山 希歩さん

これからうんどうかいをはじめます
雨びき小 一ねん あり山 のあ
わたしは、にゅう学してはじめてのうんどうかいで、一ねん生の中からおとこのことじたりで「がいかいのことは」をやりました。うんどうかいの日は、おきやくさんがいっぱいいたので、きんちゃんしてつえが小さくなつてしまいました。
「どうだった？ちよっとだけ、しっぱいしちゃったんだ。」
れんしゅうのときは、大きいつえでいえたので、わたしははずかしくなつてしまいました。でも、おうちの人は、
「大きいつえでいえていたよ。のあちゃん、がんばったね。」
と、いっぱいほめてくれました。うんどうかいの日まで、おかあさんといっぱいれんしゅうをしたので、ほめてもらえてうれしかったです。
うんどうかいでは、わたしたちがカメのリ

ユックをもつて、おうちの人のぶんぶをしてもらいながらはしるがけ。つがりました。
わたしは、おとうさんにおんぶしてもらいました。
「おとうさん、がんばって。まけないで。」
というと、
「よし、まかせろ。いくぞ。」
と、おとうさんはわたしをおんぶして、いっしょけんめいはしってくれました。いつも、
「この日はおとうさんがおしごとでいなくて、休みの日しかいっしょにあそべなかったの、うんどうかいでおんぶしてもらえてとてもうれしかったです。それに、おとうさんがごろばないかドキドキだったけど、さーいまでおんぶをしてはしってくれたのでよかったです。おとうさん、ありがとう。」
そして、わたしが一ばんたのしかったのは、一・二ねん生でおどった「やっぴよう」です。たいいくのじか人や、かっこの休みじかに、おともだちといっしょにおどったり、

みんなであたりしながらんしゅうせしました。てのうごきや、ばしょがわるのを
おぼえるのがたいへんだ。たけれど、みんな
でおどるのがたのしかったです。

うんどうかいの日も、おきくさんがいっ
ぱいで、まちがえたらどうしようとおもって
いたけれど、

「ぎんちようするね」。

「がんばろうね」。

と、おともだちとはなして、いるうちになんだ

がたのしくなっていました。わたしは、みんな
ながい。しよだったから、たのしくおどれた
んだとおもいました。

わたしは、まだ一ねん生なので、しょう学
校のうんどうかいにはあと五かいあります。お
なじクラスや、大きいクラスのおにいさん、
おねえさんといっしょにうんどうかいをする
のがたのしみです。ダンスやかけっこもいっ
しょうけんめいがんばりたいです。
うんどうかいがおわってから、こられなか

ったおぼあちばんにがんばったずかたを見て
もらおうと、ビデオを見ていたら、わたし
がいった「がいがいのことば」だけがとれてい
ませんでした。おとうさんが、

「ごめんね。のあちやんとおなじで、おとう
さんもさんちようしちやって、ビデオし
ばいしちゃった」。

と、いってしました。

「おとうさんも、わたしとおなじだね」。

とわうっていましたが、おぼあちやんに見せ

てあげられなくてあや、とぎんねんてした。
でも、わたしのためにビデオをとってくれた
り、おんぶしやはしてくれたりしたおとう
さんにおれいをしてあげたいとおもいます。
こんどのうんどうかいでは、わたしもおと
うさんも、しっぱいしないでできるかな。き
んちやうしなかな。いまからこれからのう
んどうかいがたのしみです。



第46回入賞作品

作文の部 最優秀賞

小さいのちが教えてくれたこと

がんばれーまさとー！

わたし色

待つ喜び

心を一つに

茨城県・桜川市立桃山学園 二年 鈴木 美咲さん

長野県・阿南町立富草小学校 三年 伊藤 倅人さん

東京都・成蹊小学校 四年 小林 珠梨さん

埼玉県・さいたま市立仲本小学校 五年 安達 夢乃さん

静岡県 静岡サレジオ小学校 六年 齊藤 優太さん



第46回入賞作品

版画の部

最優秀賞



虫たちひろば

埼玉県・草加市立長栄小学校・一年

井下 英紀さん



夜空の雨の中でリコーダー

長野県・飯山市立秋津小学校・三年

小泉 心円和さん



「こぎつね」がていねいにひけたよ

千葉県・市原市立ちはら台桜小学校・二年

阿部 結夏さん



仲よく遊ぶふくろうの家族

山梨県・甲府市立池田小学校(佐野絵画教室)・四年

三品 佐歩さん



夕日に浮かぶ花

東京都・足立区立栗原小学校・六年

佐藤 真彩さん



耕運機を操る人

千葉県・我孫子市立我孫子第二小学校・五年

新山 小太郎さん

第46回全労済小学生作品コンクール 応募小学校・教室一覧（順不同）

茨城

笠間市立友部小学校 かすみがうら市立上佐谷小学校 学校法人緑丘学園水戸英宏小学校 つくば市立釜崎第三小学校 つくば市立要小学校 水戸市立鯉淵小学校 水戸市立堀原小学校 稲敷市立阿波小学校 茨城県立つくば特別支援学校 茨城県立水戸聾学校茨城県立友部特別支援学校 結城市立結城西小学校 桜川市立雨引小学校 鹿嶋市立三笠小学校取手市立高井小学校 小美玉市立下吉影小学校 小美玉市立玉里東小学校 小美玉市立堅倉小学校 小美玉市立上吉影小学校 小美玉市立竹原小学校 城里町立七会小学校 常総市立玉小学校常総市立飯沼小学校 常陸太田市立金砂郷小学校 常陸大宮市立緒川小学校 石岡市立園部小学校 石岡市立関川小学校 石岡市立三村小学校 石岡市立杉並小学校 石岡市立東小中学校石岡市立東成井小学校 石岡市立恋瀬小学校 大子町立生瀬小学校 筑西市立下館小学校 筑西市立古里小学校 筑西市立大田小学校 潮来市立延方小学校 土浦市立真鍋小学校 東海村立中丸小学校 那珂市立瓜連小学校 日上市立金沢小学校 日上市立成沢小学校 日上市立大みか小学校 日上市立大久保小学校 鉾田市立旭東小学校 鉾田市立新宮小学校 茨城町立葵小学校 鉾田市立鉾田北小学校 つくば市立春日学園義務教育学校 つくば市立学園の森義務教育学校 桜川市立桃山学園

栃木

宇都宮市立豊郷北小学校 宇都宮市立昭和小学校 宇都宮市立国本中央小学校 宇都宮市立富士見小学校 宇都宮市立西小学校 宇都宮市立横川西小学校 宇都宮市立雀宮東小学校 宇都宮市立緑が丘小学校 宇都宮市立瑞穂野北小学校 宇都宮市立横川東小学校 宇都宮市立篠井小学校 宇都宮市立岡本小学校 宇都宮市立田原小学校 日光市立安良沢小学校 日光市立清滝小学校 市貝町立市貝小学校 益子町立益子小学校 真岡市立久下田小学校 真岡市立大内中央小学校 鹿沼市立菊沢西小学校 鹿沼市立南摩小学校 鹿沼市立みなみ小学校 鹿沼市立清洲第二小学校 鹿沼市立永野小学校 小山市立乙女小学校 大田原市立薄葉小学校 大田原市立大田原小学校 那須塩原市立大原間小学校 那須塩原市立大山小学校 那須塩原市立東小学校 那須塩原市立三島小学校 佐野市立植野小学校 佐野市立城北小学校 栃木市立南小学校 上三川町立明治小学校 上三川町立上三川小学校 塩谷町立玉生小学校 野木町立南赤塚小学校

群馬

前橋市立桂萱小学校 前橋市立桃井小学校 前橋市立岩神小学校 高崎市立中川小学校 高崎市立北部小学校 高崎市立寺尾小学校 高崎市立新町第一小学校 高崎市立金古南小学校 高崎市立堤ヶ岡小学校 桐生市立南小学校 桐生市立梅田南小学校 太田市立宝泉東小学校 太田市立南小学校 富岡市立高瀬小学校 富岡市立吉田小学校 安中市立秋間小学校 安中市立東横野小学校 東吾妻町立岩島小学校 長野原町立第一小学校 長野原町立応桑小学校 群馬県立聾学校

埼玉

伊奈町立小針北小学校 神川町立神泉小学校 さいたま市立下落合小学校 さいたま市立指扇北小学校 さいたま市立泰平小学校 さいたま市立仲本小学校 さいたま市立片柳小学校 本庄市立秋平小学校 本庄市立児玉小学校 羽生市立新郷第二小学校 戸田市立戸田東小学校 三郷市立新和小学校 三郷市立吹上小学校 川越市立高階西小学校 川越市立高階南小学校 川越市立寺尾小学校 川越市立泉小学校 川越市立中央小学校 川越市立名細小学校 川口市立戸塚縁瀬小学校 川口市立芝西小学校 川口市立仲町小学校 草加市立高砂小学校 草加市立長栄小学校 朝霞市立朝霞第三小学校 和光市立白子小学校 西武学園文理小学校

千葉

市原市立ちはら台桜小学校 柏市立風早北部小学校 千葉日本大学第一小学校 我孫子市立我孫子第二小学校 我孫子市立高野山小学校 国府台女子学院小学部 市原市立海上小学校 市原市立国府小学校 市原市立清水谷小学校 市原市立青葉台小学校 市原市立牧園小学校 市川市立大洲小学校 酒々井町立大室台小学校 松戸市立上本郷小学校 松戸市立梨香台小学校 聖徳大学附属小学校 千葉県立千葉聾学校 袖ヶ浦市立長浦小学校 筑波大学附属聴覚特別支援学校 茂原市立豊岡小学校 野田市立山崎小学校

東京

足立区立栗原小学校 足立区立千寿小学校 足立区立千寿常東小学校 足立区立東洲江小学校 足立区立平野小学校 荒川区立第五峡田小学校 江戸川区立小松川第二小学校 江戸川区立篠崎第三小学校 江戸川区立東小岩小学校 大田区立山王小学校 絵画造形サークル 葛飾区立こすげ小学校 北区立浮間小学校 国本小学校 光塩女子学院初等科 江東区立第二辰巳小学校 江東区立第六砂町小学校 筑波大学附属小学校 小平市立小平第五小学校 品川区立浅間台小学校 聖徳学園小学校 白百合学園小学校 新宿区立市谷小学校 杉並区立永福小学校 杉並区立浜田山小学校 墨田区立中川小学校 墨田区立業平小学校 成蹊小学校 世田谷区立山野小学校 台東区立谷中小学校 中央区立明石小学校 中央区立常盤小学校 帝京大学小学校 東京学芸大学附属小金井小学校 東京学芸大学附属世田谷小学校 東京都立大塚ろう学校小学部 東京都立大塚ろう学校 永福分教室小学部 東京都立大塚ろう学校 城東分教室小学部 東京都立光明学園小学部 東京都立町田の丘学園小学部 桐朋小学校 中野区立新井小学校 中野区立啓明小学校 練馬区立泉新小学校 練馬区立下石神井小学校 八王子市立式分方小学校 羽村市立小作台小学校 東久留米市立第二小学校 福生市立福生第一小学校 文京区立根津小学校 宝仙学園小学校 町田市立南大谷小学校 瑞穂町立瑞穂第二小学校 瑞穂町立瑞穂第四小学校 港区立芝小学校 武蔵野市立第三小学校 武蔵野市立第四小学校 明星小学校 目黒星美学園小学校 立教女学院小学校

神奈川

川崎市立宮前小学校 川崎市立川崎小学校 川崎市立田島支援学校桜校 川崎市立下沼小学校 川崎市立玉川小学校 川崎市立古川小学校 川崎市立梶ヶ谷小学校 川崎市立西菅小学校 川崎市立中野島小学校 川崎市立生田小学校 川崎市立百合丘小学校 川崎市立岡上小学校 川崎市立南野川小学校 横浜市立西寺尾第二小学校 横浜市立長津田小学校横浜市立日限山小学校 大和市立緑野小学校 大和市立大和小学校 愛川町立中津第二小学校 藤沢市立石川小学校 平塚市立崇善小学校 秦野市立大根小学校 秦野市立鶴巻小学校 伊勢原市立桜台小学校 秦野市立西小学校 秦野市立沢沢小学校 横浜市立日野南小学校 川崎市立新作小学校

長野

飯山市立泉台小学校 飯山市立秋津小学校 須坂市立井上小学校 飯綱町立牟礼小学校 長野市立三輪小学校 長野市立西条小学校 長野市立篠ノ井東小学校 長野市立中条小学校 上田市立丸子北小学校 上田市立傍陽小学校 小諸市立野岸小学校 松本市立岡田小学校 諏訪市立城北小学校 諏訪市立四賀小学校 岡谷市立岡谷田中小学校 伊那市立高遠北小学校 伊那市立西春近北小学校 駒ヶ根市立中沢小学校 辰野町立辰野西小学校 飯島町立七久保小学校 飯田市立千代小学校 阿南町立富草小学校 阿南町立和合小学校 平谷村立平谷小学校 売木村立売木小学校 国立信州大学教育学部附属松本小学校

山梨

山梨大学教育学部附属小学校 甲府市立新紺屋小学校 佐野絵画教室 山梨県立甲府支援学校 私立山梨学院小学校 富士河口湖町立河口小学校 富士河口湖町立大石小学校 都留市立宝小学校 山梨県立あけぼの支援学校 北杜市立高根北小学校 上野原市立西原小学校

静岡

磐田市立田原小学校 掛川市立中小学校 掛川市立東山口小学校 掛川市立中央小学校 浜松市立飯田小学校 浜松市立豊西小学校 浜松市立相生小学校 浜松市立芳川北小学校 浜松市立蒲小学校 川根本町立中川根第一小学校 島田市立六合小学校 島田市立島田第五小学校 焼津市立港小中学校 焼津市立焼津南小学校 静岡県立清水特別支援学校小学部 静岡サレジオ小学校 静岡市立清水興津小学校 静岡市立安倍口小学校 牧之原市立相良小学校 牧之原市立川崎小学校 常葉大学教育学部附属橋小学校 静岡市立伝馬町小学校 富士宮市立稲子小学校 伊東市立旭小学校 伊東市立東小学校 伊東市立南小学校 伊東市立池小学校 伊東市立富戸小学校 中央区立宇佐美学園

■ 第47回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎() ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

■ 第47回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎() ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

キリトリ線

■ 第47回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎() ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

キリトリ線

■ 第47回 出品カード

作文	題 名		
版画			
学 年	性 別	フリガナ	
年	男・女	氏 名	
自 宅 住 所	〒 ー		
	☎() ー		
フリガナ			個人で応募の 場合は○を つけてください
小学校名 または 所属団体名			個人
小学校 または 所属団体 所在地	〒 ー		

2019年度 第47回 こくみん共済 coop 小学生作品コンクール

出品名簿

とりまとめ用
(作文・版画)

いすれかに
○をつけてください。

都県名

小学校名または団体名称 (小学校は〇〇市立・私立等からご記入ください。)

フリガナ

小学校または
団体の住所

電話番号 () -

指導された先生のお名前

学年	組	性別	氏 名(フリガナも必ずご記入ください)			題 名			備 考		
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
年	組	男	フリガナ								
		女									
応募点数		1年生	2年生		3年生	4年生	5年生	6年生	合計		
		点	点		点	点	点	点	点		
通 信 欄											

※ご記載いただいた個人情報は、「個人情報保護法」にもとづき、その取り扱いについて充分留意するとともに、当作品コンクール以外での使用目的では、一切利用いたしません。

第46回中央コンクール表彰式を開催しました。

第46回全労済小学生作品コンクールの表彰式は、2019年3月3日(日)、東京・全労済ホール スペース・ゼロにて入賞者、ご指導いただいた先生方、ご家族など、約160名の方にお集まりいただき盛大に行われました。

晴れの舞台に緊張感だよう中にも笑顔があふれ、入賞作文の朗読は参加者に深い感銘を与えたようです。

今回(第47回)も2020年3月1日(日)に東京で中央コンクールの表彰式を行う予定です。

子どもたちの限らない感性と夢と希望にあふれる作品をお待ちしております。



第46回 後援 ●茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会・千葉県教育委員会・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・静岡県教育委員会・(株)水戸放送局・宇都宮放送局・前橋放送局・さいたま放送局・千葉放送局・横浜放送局・長野放送局・甲府放送局・静岡放送局・茨城県・茨城新聞社・茨城放送・上毛新聞社・埼玉新聞社・千葉テレビ放送・長野県・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn長野朝日放送・山梨日日新聞社・山梨放送・静岡県・静岡新聞社・静岡放送・テレビ静岡

これまでの作品テーマ

- | | | | | | |
|-------------|-----------------------------|---------|-------------|---------------------------|------|
| ●1973年 第1回 | 。火事 | (作文のみ) | ●1993年 第21回 | 。交通の発達とわたしたちの暮らし | (作文) |
| ●1974年 第2回 | 。はたらく人 | (作文・版画) | ●1994年 第22回 | 。わたしたちの大切な友だち | (作文) |
| ●1975年 第3回 | 。たすけあい | (作文・版画) | ●1995年 第23回 | 。わたしの好きなこと・好きなもの | (作文) |
| ●1976年 第4回 | 。仲間 | (作文・版画) | ●1996年 第24回 | 。ぼくの・わたしの通学路 | (作文) |
| ●1977年 第5回 | 。いのちをたいせつにする | (作文・版画) | ●1997年 第25回 | 。ぼくの夢・わたしの夢 | (作文) |
| ●1978年 第6回 | 。遊ぶ | (作文・版画) | ●1998年 第26回 | 。ぼくの家族・わたしの家族 | (作文) |
| ●1979年 第7回 | 。私の家族 | (作文・版画) | ●1999年 第27回 | 。たのしいこと・うれしいこと | (作文) |
| ●1980年 第8回 | 。ぼくの失敗、わたしの失敗 | (作文) | ●2000年 第28回 | 。失敗したこと・うまくいったこと | (作文) |
| | 。育てる | (版画) | ●2001年 第29回 | 。不思議なこと・わからないこと | (作文) |
| ●1981年 第9回 | 。夢中になってつくる | (作文) | ●2002年 第30回 | 。好きなこと・やりたいこと | (作文) |
| | 。力をあわせる | (版画) | ●2003年 第31回 | 。ぼくのゆめ・わたしのゆめ | (作文) |
| ●1982年 第10回 | 。心を強くうたれたこと | (作文) | ●2004年 第32回 | 。ぼくの・わたしの宝もの | (作文) |
| | 。働く | (版画) | ●2005年 第33回 | 。ぼくの・わたしの大切なひと | (作文) |
| ●1983年 第11回 | 。父母(祖父母)と戦争 | (作文) | ●2006年 第34回 | 。ぼくから・わたしからの『ありがとう』 | (作文) |
| | 。元気に遊ぶ | (版画) | ●2007年 第35回 | 。未来のぼく・わたしへ | (作文) |
| ●1984年 第12回 | 。自然とともに | (作文) | ●2008年 第36回 | 。ぼくが・わたしが『できること』 | (作文) |
| | 。道具をつかう | (版画) | ●2009年 第37回 | 。ぼくの・わたしの『将来のゆめ』 | (作文) |
| ●1985年 第13回 | 。助けたこと、助けられたこと | (作文) | ●2010年 第38回 | 。だいすきなもの | (作文) |
| | 。なかよしと | (版画) | ●2011年 第39回 | 。たのしかったおもいで | (作文) |
| ●1986年 第14回 | 。私のまち・むらの暮らし | (作文・版画) | ●2012年 第40回 | 。たすけあい | (作文) |
| ●1987年 第15回 | 。おまつり | (作文・版画) | ●2013年 第41回 | 。もしも1つだけ願いがかなうなら | (作文) |
| ●1988年 第16回 | 。くるまとわたしたちの生活 | (作文・版画) | ●2014年 第42回 | 。ぼくの・わたしのたからもの | (作文) |
| ●1989年 第17回 | 。動物とわたし | (作文) | ●2015年 第43回 | 。ぼくの・わたしの未来 ～こんなおとなになりたい～ | (作文) |
| ●1990年 第18回 | 。ぼく(わたし)の夢 ～大人になったら～ | (作文) | ●2016年 第44回 | 。わすれられないこと | (作文) |
| ●1991年 第19回 | 。たいせつなもの ～自然や環境をどのようにして守るか～ | (作文) | ●2017年 第45回 | 。つづけていきたいこと | (作文) |
| ●1992年 第20回 | 。私と家族 | (作文) | ●2018年 第46回 | 。どきどき・わくわくしたこと | (作文) |

※第17回以降、版画は自由課題

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

たすけあいから生まれた保障の生協です。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。